

## 2024年4月14日（日）第二礼拝「霊と魂と体の救い」 I テサロニケ 5章 23節

聖書は、私たちが霊と魂と体から形成されていると言っています。イエス様の来臨の時に責められるところのないように、この霊、魂、体は完全に守られる必要があります。

第一番目、霊の救いです。霊の救いとは三位一体なる神様の恵みであり賜物です。罪によって死んでいた私たちの霊は、イエス様の十字架の贖いと父なる神様の愛と聖霊の働きによって生き返りました。「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。」(エペソ 2:8) 「人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です。」(ヨハネ 3:5~6) この「水」とは恵みの言葉であり福音です。御霊によってイエス様を主だと告白する信仰が与えられ、私たちの霊が生かされました。「救われた」「生まれた」は現在完了形です。イエス様は十字架上で強盗の一人に、「あなたは今日わたしとともにパラダイスにいます。」と言われました。信じたこの瞬間が救いの日です。イエス様を信じる者は永遠のいのちが与えられ、死んでも生きるのです。

第二番目、魂の救いです。「…愛する人たち、いつも従順であったように…恐れおののいて自分の救いを達成してください。」(ピリピ 2:12) この「達成してください」は現在進行形です。魂とは自分の思いや意志、感情です。体はその魂の命令によって動きます。魂は一日にして変わるものではなく過程(プロセス)が必要です。乳児期から幼児期、学童期、青年期、成人期へと成長する過程で時間をかけて成長していくものです。逆に霊は瞬間的に変化しますが、魂がそれに同意しなければ、私たちは変わることはありません。この「魂が同意する」とは自分の思いを捨てて、御言葉に従順することです。「幻がなければ、民はほしきままにふるまう。しかし律法を守る者は幸いである。」(箴言 29:18) 幻とは主の霊が私の霊に語ること、つまり御言葉です。御言葉を私たちの目標とし、人生のナビゲーション(GPS)に設定するならば、その目標に向けて道案内してくれます。この世の中でも何かを達成するためには目標が必要です。また、その目標のために努力します。私たちの目標はイエス様の再臨です。私たち花嫁は花婿イエス様が来られるために全力を尽くしていくことが大切です。

第三番目、体の救いです。体は土(アダマ)から造られました。この死に至る体の中に御言葉があるなら、私たちは罪のうちを歩むことができません(Iヨハネ 3:9)。この御言葉が私たちのうちで成長するためには、水と栄養分である礼拝や祈り、聖霊の働きが必要です。また雑草(罪)のためには悔い改めが必要です。「…私は決勝点がどこかわからないような走り方はしていません。…私は自分の体を打ちたたいて従わせます。…」(Iコリント 9:26~27) 怠けやすい体はいつも御言葉に抵抗します。この体に従順するように打ち叩く(肉体の鍛錬)のも有益です(Iテモテ 4:8)。イエス様はいつものように礼拝に行き、御言葉を読み、伝道し、祈られるなど、良い習慣を持っておられました。イエス様の再臨のために自分を鍛錬し、良い習慣を身に着けることで、今のいのちと未来のいのちが約束されます。アーメン！